

構成員一人ひとりの防御行動を 促進する対策案の創出

この時間にやる事

セキュリティポリシー及び情報関連規定を整備しても、構成員一人ひとりが自分の問題として捉え・防御行動に結びつけることは現実には難しい



システム化することで意識付けを促進する全学的な取り組みになりそうな、アイデアを出し合う

課題：セキュリティ講習会の受講をどうすれば徹底できるか？

1. 受講対象
 1. 学生(院生)
 2. 教員
 3. 職員
 4. その他のステークホルダー

2. 理解度チェック
 1. 講習会の中で実施
 2. 別途の小テスト

未受講対策、こんなのどうでしょ①

1. 近くで次にログインしたユーザのデスクトップに「近くにいる未受講者」として(目は黒線の)顔写真が壁紙になる

2. 証明書発行機のスクリーンセイバーに(目は星印の)顔写真を掲示

こんなのどうでしょ②

1. 認証画面で小テストを実施し、受かったらその日は利用可
2. 出席システムのログインでも上記を実施

こんなのどうでしょ③

1. 学生LMSシステムで受講している講義の担当教員のプロフィールに未受講マークを表示
2. 生協でゲストレベル免罪符チケットを販売

こんなのどうでしょ④

1. 不定期にテスト用フィッシングメールを受講対象者に送付し、添付ファイルを開く、メール本文中に記載のURLをクリック、などの操作をしてしまったときにポップアップ画面で反省を促すメッセージを表示する。
2. 上記テストでの失格者のリストは情報システム部門が把握できるようにし、後日、情報システム部門より講習会受講を促す。

では、アイデアを出
し合いましょう！